

実施日：2024年8月5日

研究テーマ：美術展の開催に向けて・教材＆授業の交流



研究会の達成目標：

美術展の開催に向けて・教材＆授業の交流

活動内容

美術研究会8月からは一人減り、4名で活動しています。各校に教科の担当が1人～2人と少ないため大変ですが、他の学校の教科同士、若手の先生やベテランの先生の交流ができる、とても貴重な機会となっています。

7月と8月の認定研究会では、主に教育美術展の持ち方やどのように継続して開催していくのか話し合っていました。展示場所の検討や豊中市の美術科の先生方に美術展を今後どのような持ち方にしていくのかの美術展の開催の意向をアンケートで集約などをしました。認定研究会主催で豊中市の教育美術展を進めていく依頼方法などを考えました。

また、教材＆授業の交流では、新日本造形の図工・美術教材フェアに参加した先生が、たくさん教材の交流をしてくださいました。

メタリック・サインボードでは、マンホールのデザインをし、カラーメタル箔を貼って凸部分を研磨するとアンティーク風で彫金を学ぶことができる教材です。また、この教材は、教科書で扱う、家紋などの分野にも応用することができそうだという意見も出ていました。また、オープン粘土での皿づくりで陶芸を体験できるなどの、手軽に簡単に作業ができるなどの、生徒の興味をひくような教材がたくさんありました。和紙で墨による表現や、一般多色刷りなどの作品も交流しました。

今後の活動

実技などの実践研究をしていく予定です。教材の決定をし、教材の特色やアプローチの仕方などを考えていこうと思っています。また、12月に開催予定の教育美術展の件も進めていこうと思っています。